

豪商西戎屋跡

史跡探訪の碑を尋ねて①



総社商店街の歴史を巡る

東田町の亀山氏西戎屋は、本町の元戎屋から仙右衛門正綱が分家し、酒造業を営んで財をなしました。さらに、質屋や海産物の問屋など手広く商いをし、ますます財をなしました。

文政中期

(1824)

ころには、総社第一の豪商となり、松山藩領内における三豪商の一人として、御用達・札座方

ちょっと立ち話



吉富多佳子さん(総社一丁目)

「れとろーど」のときは、多くの人が訪れ、いろんなイベントやお店が並びうれしくなりました。うちでも、画家の吉富朝次郎の絵画を展示をしました。私が子どものころ、市でにぎわっていた光景が懐かしく思い出されましたよ。



を務めました。代々西戎屋の人々は、和歌を学び、多くの作品を残し、商才と文人的精神に富み、総社に文化の花を咲かせた。当事における文化人であったことが分ります。

尿失禁について

平川 秀三 医師
(吉備医師会から)

尿失禁とは、尿が漏れるのをうまくコントロールできない状態をいいます。咳やくしゃみをしたときに思わず下着を濡らしたり、トイレに行くまで間に合わず尿を漏らしたりしてしまう状態です。尿失禁については、恥ずかしいとか、年のせいなどと考え、症状を訴える人は少ないのですが、実は非常に身近な症状で、男性より女性に多く、中高年女性の3〜4人に1人は尿漏れ(尿失禁)の経験者といわれています。症例が多いのは、切迫性尿失禁と腹圧性尿失禁の2つです。

切迫性尿失禁は通常、頻尿や夜間頻尿を伴う尿意切迫感(尿意を生じてからすぐに、我慢できない急な尿意に変わる)で、中高年の生活の質を

下げる重要な疾患と認識されるようになっていきます。具体的には、帰宅して玄関を鍵で開ける間や、トイレのドアのノブに手をかけたときに漏れてしまう(ドアノブ尿失禁)、台所、洗面所で冷たい水に手をつけたときに急に尿意をもよおす(手洗い尿失禁)などです。

腹圧性尿失禁は、膀胱や尿道を支える骨盤底筋の脆弱化、尿道括約筋が弱くなっていることから起きます。そのため、咳やくしゃみ、大笑いをしたとき、重い荷物を持ったときなど、おなかに力が入った拍子に尿が漏れる状態をいいます。

薬物療法や骨盤筋体操など、尿失禁への適切な治療も進歩してきていますから、まずは医療機関に相談してください。

健康アドバイス

教育知り隊

雪舟スクールサポーター事業は、「地域の宝(人材)を、学校と子どもの応援団に」を合言葉に、地域の教育力を学校教育に導入を進めることで、地域住民のための生涯学習の場の提供と学校教育の一層の充実を図ることをねらいとしています。総社で修行し、「まなび」を重ねた雪舟さんにちなんで名づけました。

雪舟スクールサポーターの主な活動内容は、次の3点です。

- ①教育活動支援：各教科や「総合的な学習の時間」などでの学習活動や学校生活の補助。学校行事やクラブ活動、部活動などの支援
- ②環境整備支援：花壇の整備、植木のせん定、簡単な修繕など
- ③学校安全支援：校外学習や遠足のときの安全確保の補助。登下校の付き添いなど

子どもの応援団に！

～雪舟スクールサポーターの創設～

登録資格は、市内に在住か、在勤、在学の人です。随時募集していますので、市内の幼稚園、小・中学校、もしくは生涯学習課へご連絡ください。昨年12月1日現在の登録者は161人。年齢層も19歳から87歳まで幅広く、その内134人が、すでに市内の幼稚園、小・中学校で活動しています。

雪舟スクールサポーターの活動は、子どもたちの安全やまなぶ意欲の向上、まなびの広がりにつながります。活動を通じ、人間関係が築かれ、子どもたちが地域に愛着をもち、地域の一員としての自覚が高まることを期待しています。

より多くの目で子どもたちを見守り、家庭・社会・学校が協働で、「おらがまちの応援団」として学校を盛り上げ、子どもたちの「生きる力」を育んでいきたいと思っています。

【生涯学習課】

ごみの不法投棄は犯罪です！

皆さん、ご存知ですか。ごみの不法投棄は犯罪です。岡山県内でも最近、家庭から出たごみを不法投棄した人が検挙されています。

清潔で住みよい総社市を作るために、

●ごみは、ルールにしたがって正しく処分しましょう。

●ごみの収集日程表にしたがい、収集日や出す時間を守り、指定の袋を使用して決められた場所へ出ししましょう。

●一部の良識のない行為によって、大勢の人が迷惑を受けています。

皆さん、ご存知ですか。美しく清潔なまちづくりのために、ごみの不法投棄を見かけたら、総社警察署(☎0110)へ連絡してください。

注意！

自転車盗難多発！

ちょっとした間だからと鍵をかけていなかったのはもちろんのこと、鍵をしていても開けられて、自転車が盗まれるという被害が多発しています。

あなたの大切な自転車を守りましょう。鍵かけを確実にし、チェーンロックなどで二重ロックし、万全にしましょう。

防犯のすすめ